

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充 国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
					指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
1) 近江の地場産品の需要拡大のための、新商品の開発に対する支援、情報の提供、新たな販路の開拓の促進等(48事業)														
ア 近江の地場産品のPRイベントや地産地消を推進するキャンペーンの実施、近江の地場産業事業者等のPR活動に対する支援(15事業)														
1		○	「発酵産業」成長促進プロジェクト事業	地域の資源や素材を活かした発酵産業の創出を図るため、県内事業者による発酵を軸とした新たな商品・サービスの開発や販路拡大、認知度向上に向けた取組を支援する。	○ターゲットを意識した商品・サービス開発、販路開拓および学びの推進			メディア露出の増加等に伴い、開発を支援した商品それぞれのファンは獲得できたものの、滋賀県＝発酵という認知度はまだまだ低く、令和7年度以降は、滋賀の発酵産品へのファン創出に向けた事業を行う。				2,214	商工政策課	-
					達成度%	100%	100%	100%						
2			伝統的工芸品月間等参加事業	伝統的工芸品産業の振興を図るため、(一財)伝統的工芸品産業振興協会が実施する全国伝統的工芸品展に参加する。	○伝統的工芸品月間事業「2024 TEWAZA LIVE 石川」 出展者：近江上布 開催期間：11月8日(金)～10日(日) 開催場所：金沢21世紀美術館、石川県政記念しいのき迎賓館(石川県) ○全国伝統的工芸品展 開催期間：①9月10日(水)～15日(月) ②2月23日(金)～28日(水) 開催場所：①阪急うめだ本店(大阪市北区) ②銀座松屋(東京都中央区) 出展者：①近江上布、彦根仏壇、木珠(高級木製数珠玉) ②信楽焼、彦根仏壇、輪奈ピロード			未だ認知されていない現状があるため、引き続き、認知度向上のための魅力発信が必要であり、継続して、事業を実施。				2,399	イノベーション推進課	18
					WAZA展への出展を通して「販路開拓につながった」と感じた事業者の割合	83.3% (80%)	100% (80%)	125% 100% (80%)						

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
3		新	○	地場産業・伝統的工芸品魅力発信ベース検討事業	地場産業・伝統的工芸品の担い手（作り手・支え手・買い手などの関係人口）の育成・確保につなげるため、展示・販売・実演・体験を含む地場産業・伝統的工芸品の魅力発信拠点の設置、次年度以降の事業展開検討のための効果検証を行う。	○県および国指定の伝統的工芸品の展示・販売・実演を含む体験会を開催。 開催期間：①10月 1日～10月14日 ②10月17日～10月30日 ③11月 2日～11月15日 開催場所：①BIWAKO PICNIC BASE（長浜市） ②伊吹薬草の里文化センター（米原市） ③新旭駅西ショッピングセンターエスパ（高島市） 事業者：長浜縮緬、近江上布、信楽焼、高島扇骨、彦根仏壇、網織紬、草木染手組組紐、鼻緒、輪奈ピロード、（再興）湖東焼、上丹生木彫、木珠（高級木製数珠玉）、愛知川びん細工手まり、江州よしすだれ（12者）			開催期間や拠点の設置場所、販売方法などあらゆる方法で拠点設置の実現に向けて検討する必要がある。				8,999	イノベーション推進課	91 94 100
						「周知を図ることができた」と感じた出展事業者の割合	- (-)	- (-)	115% 91.7% (80%)	()	()	【-】			
4		新	○	地場産業の新たな流通ルート確立支援事業	既存商品を用い、既存の卸売業への販売ルートに加えて、生産者と消費者の距離が近い製造小売業や小売業との新たな流通ルートの確立を支援し、地場産業事業者の経営基盤の強化を図りつつ、新商品開発や販路開拓の道を拓くことを目的とする。	○マッチング件数：9件（浜縮緬1件、彦根仏壇2件、湖東麻織物1件、高島綿織物1件、信楽陶器3件、伝統工芸品1件） ・バイヤーとのマッチング後にも話が進み、アフリカの現地ホテルのセレクトショップへの提案など、各参画事業者のもつ商品の店舗、ECサイト等への取扱など複数の話が出た。			・事業説明会の参加や参画事業者の募集が集まりにくかった。 ・事業説明会の参加が多くなるよう広報に力を入れ、参画事業者の掘り起こしに努める。				5,780	イノベーション推進課	56
						バイヤーとのマッチング件数：10件	- (-)	- (-)	90% 9件 (10件)	()	()	【-】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考
							達成度%									
5				○ 近江の地域産業振興 総合支援事業	地場産業組合等が実施する 海外の販路開拓、持続的発展 に向けた後継者育成や国内 での販路拡大等、ブランド 力向上を目指した取り組 みを支援する。	○地域産業総合推進事業 施策推進協議会を実施した(開催日：7月29 日)。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を 目的にして行うブランド化推進に係るセミナー開 催や専門家派遣、認知度向上に向けた情報発信等 に対して助成した ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組 合に対して助成した			113%					12,189	イノベーション推進課	28 81 106
						商品開発や販 路開拓に取り 組んだ事業者 の数	13者 (15者)	6者 (10者)	9者 (8者)				【-】			
6				○ 近江の地酒文化普及 事業	近江の地酒に関する魅力を 発信し、県民等の近江の地 酒に対する愛着を高め、地 酒でもてなす機運を醸成す ることで新たなファン獲得 や需要の掘り起こしを行 い、滋賀への誘客促進や関 係人口の創出を図る。	○「近江の地酒」に関する魅力の発信 ・近江の地酒もてなし普及協議会開催 ・地酒イベントキャンペーンの開催 ・ホームページ等WEBを活用した情報発信 ○「近江の地酒」認知度向上・ファン獲得 ・近江の地酒ファン獲得に繋がる資材の作成 ・滋賀県酒造組合が開催する地酒の魅力発信イベ ントや海外への輸出促進の取組を支援			244%					4,380	観光振興局	95
						・商談件数	99件 (50件)	676件 (100件)	244者 (100者)				接触者数 200者 【令和6年度】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考
							達成度%									
7		新	○	環境こだわり農産物等流通・販売強化事業	環境こだわり農業への理解を醸成し、環境こだわり農産物等の高付加価値化・認知度向上につながる取組を支援する。	○環境こだわり農産物等の認知度向上につながる取組を支援 ・環境こだわり農産物コーナーの設置 ・環境こだわり農産物を使用した惣菜等への簡易表示の推進 ・量販店での販売促進・PR活動 ○環境こだわり農業に対する消費者の理解促進につながる啓発活動に対する支援	170%	17	(10)	(15)	(20)	20 【R8年度】	1,218	みらいの農業振興課	19	
8		○		食べて健康「滋賀の野菜」消費拡大事業	県産野菜等の新しい食べ方提案や食べられる店舗の見える化を図り、消費者の日常生活の多様な場面（内食、中食、外食）で県産野菜等の魅力を感じられる機会を創出し、その消費拡大を図る。	○内食・中食での消費拡大 ・新しい食べ方提案による家庭での県産野菜の消費拡大 ・首都圏での県産食材ファンの獲得 ○外食での消費拡大 ・県産野菜の食べられる機会の見える化 ・民間企業や大学等との連携	105%	()	()	()	65事業者 【R05年度】	3,228	みらいの農業振興課	21		
9		○		地域ニーズに応える直売所等応援事業	直売所が実施するデータ分析に基づく生産・販売戦略の策定や戦略に基づく取組を支援する。	○データ分析に基づく直売所生産・販売戦略策定等支援 ・生産・販売戦略の策定支援、戦略に基づく出荷者育成活動の支援等	60%	()	()	()	15事業者 【R05年度】	4,536	みらいの農業振興課	-		
						ICTの強化に取り組む事業者数	14事業者 (15事業者)	9事業者 (15事業者)	()	()	()					

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	達成度%	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
									令和6年度の 実績値 (目標値)							
10				新時代の近江牛応援 団づくり事業	県内の児童等が近江牛の魅力、地元の食・食文化、地産地消や食の安全に対する理解を深めることによって、将来の近江牛ファンを育てるとともに、職業としての農業、食肉の卸売・小売業、飲食店営業等の魅力を伝えることによる将来の担い手や人材確保のきっかけ作りに資する。	○関係団体が、県内の学校等に対して出前講座と食育を行う取組を支援				学生生徒が自発的に近江牛について学習する活動を支援するとともに、子どもや若者が学び・体験する場の充実化を図り、近江牛や滋賀への愛着心を育てる機会が必要である。				763	畜産課	102
						近江牛の出前講座の開催	- (-)	53回 (20回)	247% 74回 (30回)	- (-)	- (-)	- 【-】				
11		新		近江牛学校給食等提供事業	緊急的に近江牛の需要を喚起し、消費の拡大を図ること、本県畜産農家の経営の継続に資するよう、県内の学校給食等への近江牛の提供を支援するとともに近江牛のPRを実施する。	○県内の学校給食実施校等に近江牛を食材として提供する事業者に対する支援および近江牛の消費拡大に向けたPRを実施				近江牛のと畜頭数が増加傾向にあることや、物価高騰等の影響により消費が低迷していることから、継続して需要喚起や消費拡大に取り組む必要がある。				103,047	畜産課	-
						令和6年度の近江牛の飼養頭数16300頭	- (-)	- (-)	- 集計中 (17,277頭)	- (-)	- (-)	- 【-】				
12				水産物流通促進対策事業	滋賀県水産加工業協同組合が実施する湖魚の普及宣伝活動に対して支援する。	○水産物加工品評会を開催した ○滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信を行った				滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信を行う				500	水産課	43 47
						-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
13		○		多様で革新的な流通モデル実践事業	今後の高齢化による琵琶湖漁業の構造変化を見据え、漁業組織が経営スキルの強化を目的に、流通事業者と連携して湖魚の新たな流通モデルの検討・実践を行う取組を支援する。	○湖魚流通の実態把握と首都圏への販路開拓の実施 ○県漁連が主体となる新たな湖魚流通の仕組みを一定構築				琵琶湖漁業全体の販売力強化のため、流通の拡充に加えて、新たに湖魚流通の安定・高品質化への取組を推進し、漁業組織が主体となった県内集出荷体制を定着、発展させる必要がある。				10,000	水産課	-
						-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考
							達成度%									
14				魚のゆりかご水田魅力発信強化事業	<p>「琵琶湖システム」の世界農業遺産認定を契機に、魚のゆりかご水田の生産者自らが主役となって情報発信できる人材の育成、各地域取組の一元化した情報発信（HP構築）、「魚のゆりかご水田米」のブランド力向上を通して需要喚起を図り、魚のゆりかご水田プロジェクトの持続的発展を目指す。</p>	<p>○魚のゆりかご水田米PR業務委託（魚のゆりかご水田米現地視察ツアー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京阪神地域の米卸や小売業者を魚のゆりかご水田米生産現地に招聘。説明会、ミニ商談会の実施。 <p>○京阪神での魚のゆりかご水田PR業務委託（京阪神地域でのPR活動の実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモールでのPR活動 ○魚のゆりかご水田情報発信力強化業務委託 ・情報発信スキルアップ研修 ・交流会の実施 ・HPでの情報発信 			94%	<p>【課題】</p> <p>「魚のゆりかご水田」のさらなる魅力発信の強化に努め、認知度向上や販路拡大につなげる必要がある。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>生産者自らが主役となった情報発信や京阪神地域の消費者・米小売業者への普及啓発、「ゆりかご水田サポーター」と連携して行う協働活動への支援を行う。普及啓発については、首都圏での取組PRも実施することで、さらなる魅力発信の強化を図る。</p>				2,700	農村振興課	-
						魚のゆりかご水田米認証面積	107ha (150ha)	118ha (130ha)	17組織 (18組織)	(20組織)	(20組織)	27組織 【R12】	R6より取組組織数に目標変更			
15				滋賀のくすり振興対策事業	<p>「滋賀のくすり」のイメージアップを図り、販路を拡大するための啓発活動に対して支援する。</p>	<p>○（一社）滋賀県農業協会が行う滋賀のくすり販売促進活動事業の支援（補助金）</p>			<p>○「滋賀のくすり」の販売を促進するために、啓発資料の作成やミニくすり展の開催は有用であるため、引き続き事業を支援する必要がある。</p>				500	業務課	-	
						-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
イ 首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」を活用したPRイベントの開催等、首都圏における近江の地場産業事業者等の販路開拓等取組支援（10事業）																
16				ここ滋賀推進事業	<p>情報発信拠点「ここ滋賀」を運営し、滋賀の魅力を実際に見て、触れて、食べることができる体験型の発信を行うとともに、滋賀への誘引と関係人口の創出につなげる。あわせて、「ここ滋賀」外への販路拡大に向けた支援や、首都圏での滋賀ファンの拡大などに取り組む。</p>	<p>○情報発信拠点運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ここ滋賀」の運営管理 <p>○滋賀の魅力体感創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信や観光誘客の強化に向けた取組・企画 ・催事やメディア発信の実施・県産品の販売促進や販路開拓、首都圏での展示会や即売会の開催支援など、県内事業者との連携 			97%	<p>更なる魅力発信の強化ならびに来館者および県内事業者の満足度向上を図るとともに、拠点機能の最大化をめざして、拠点の各機能および事業ごとに具体的な取組を着実に進めていく。</p>				197,018	観光振興局 (ここ滋賀)	-
						「ここ滋賀」の来館者数	347,918人 (45万人)	424,656人 (45万人)	446,300人 (46万人)	()	()	【】				

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
17		新	○	滋賀県未来投資支援事業	人手不足、2024年問題、DX、CO2ネットゼロ、インバウンドの取り込みなど、事業者が行う未来を見据えた意欲的な取組に対し必要な経費の一部を補助する。	物価高騰等の影響を受ける県内中小企業等に対して、生産性向上や新事業展開、人材育成など、未来を見据えた意欲的な取組に対する支援を行った。			県内中小企業において、持続的な賃上げが実現できるよう、賃上げの原資となる付加価値額の増加させる取組に対して、県として必要な対応を講じていく必要がある。				1,189,050	商工政策課	27 31 49 70 80
						申請件数 2,500件	- (-)	- (-)	2,705件 (2,500件)	108%	()	()			
18				伝統的工芸品月間等参加事業（再掲）	伝統的工芸品産業の振興を図るため、(一財)伝統的工芸品産業振興協会が実施する全国伝統的工芸品展に参加する。	○伝統的工芸品月間事業「2024 TEWAZA LIVE 石川」 出展者：近江上布 開催期間：11月8日(金)～10日(日) 開催場所：金沢21世紀美術館、石川県政記念し のき迎賓館（石川県） ○全国伝統的工芸品展 開催期間：①9月10日(水)～15日(月) ②2月23日(金)～28日(水) 開催場所：①阪急うめだ本店（大阪市北区） ②銀座松屋（東京都中央区） 出展者：①近江上布、彦根仏壇、木珠（高級木製数珠玉） ②信楽焼、彦根仏壇、輪奈ピロード			未だ認知されていない現状があるため、引き続き、認知度向上のための魅力発信が必要であり、継続して、事業を実施。				(再掲)	イノベーション推進課	2
						WAZA展への 出展を通して「販路開拓につながった」と感じた事業者の割合	83.3% (80%)	100% (80%)	100% (80%)	125%	(80%)	(80%)			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考
							達成度%									
21		○		食べて健康「滋賀の野菜」消費拡大事業	<p>県産野菜等の新しい食べ方提案や食べられる店舗の見える化を図り、消費者の日常生活の多様な場面(内食、中食、外食)で県産野菜等の魅力を感じられる機会を創出し、その消費拡大を図る。</p>	<p>○内食・中食での消費拡大 ・新しい食べ方提案による家庭での県産野菜の消費拡大 ・首都圏での県産食材ファンの獲得 ○外食での消費拡大 ・県産野菜の食べられる機会の見える化 ・民間企業や大学等との連携</p>	105%						(再掲)	みらいの農業振興課	8	
						県産野菜を積極的に活用する飲食店数	57事業者 (60事業者)	68事業者 (65事業者)	()	()	()	65事業者 【R05年度】				
22		新	○	オーガニック農業等産地育成事業	<p>オーガニック農業の本格的な拡大を図るため、推進、指導人材の育成や技術の研究、普及を進めるとともに、有機JAS認証の取得等を支援する。あわせて、オーガニック農業の団地化や学校給食等での利用等、生産から消費まで一貫して取り組むモデル地区の創出を支援する。</p>	<p>○オーガニック農業体制整備事業 ・有機農業をすすめる人材育成、普及促進。 ・有機JAS認証取得の支援 ・オーガニック等栽培技術の調査や研究 ○オーガニック農業モデル地区創出事業 ・オーガニックビレッジ創出に向けた市町の取組(オーガニック給食、有機農業に向けた体制づくり等)を支援。</p>	99%						4,595	みらいの農業振興課	-	
						オーガニック農業(水稲:有機JAS認証相当)取組面積(ha)	283 (300)	291 (315)	328 (330)	- (345)	- (400)	400ha 【R8年度】				
23		○		健康志向に対応したオーガニック茶産地育成事業	<p>健康ニーズの高まりを新たな需要と捉え、「近江の茶」の健康ブランド化を図るため、オーガニック茶に加え、ノンカフェイン、低カフェイン等の健康志向向けの輸出茶の商品を拡充する。</p>	<p>○健康志向に対応したカフェインレス茶製造技術の開発(茶業指導所) ○健康志向に対応したオーガニック茶産地体制の構築(補助金)</p>	0%						2,963	みらいの農業振興課	42 67	
						健康機能性を持ったオーガニック茶商品の開発	- (-)	- (-)	0 (1商品)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
24				しがの力強い水田農業確立推進事業	<p>農業所得の最大化に向け、近江米振興協会や各産地が実施する需要の変化に対応する米づくりや自給率の向上が求められる麦・大豆の本作化等の取組を支援するとともに、新たな需要を切り拓くための新品種の育成等を加速する。</p>			達成度%					189,725	みらいの農業振興課	-
						全国の主食用米需要量に占める近江米のシェア	2.14 (2.16%)	2.13 (2.17%)	99% 2.13 (2.15%)	- (2.16%)	- (2.17%)	2.17% 【R8年度】			
25				<p>「きらみずき」みんなでブランド化推進プロジェクト</p>	<p>水稲新品種「きらみずき」を本県におけるオーガニック農業拡大の一つの柱と位置付け、栽培技術の確立や、生産から流通・販売の各段階で生産者や関係者等が一体となった取組および首都圏・京阪神等での市場調査等を行い、ブランド化を目指す。</p>								22,571	みらいの農業振興課	-
							- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充 国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
					指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	達成度%	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)			
ウ 近江の地場産業事業者等の海外展開戦略に係る取組支援(4事業)														
26			グローバル市場魅力 向上支援事業	海外を意識した商品開発や 既存商品の付加価値を高め ようとする県内企業の取組 に必要な経費を補助する。 また、ジェトロ滋賀貿易情 報センターと連携の上、採 択企業への支援を実施し、 効果の最大化を図る。	県内中小企業が海外展開を見据えた新商品開発・ ブランディングに取り組み、海外への販路開拓を 目指す事業に要する経費を補助			目標達成に向けて一定の成果が出ているが、補助対象 期間以降もジェトロ滋賀貿易情報センターと連携しな がら県内企業を継続して支援していくことにより、新 たな海外展開・輸出につなげていく必要がある。				8,215	商工政策課	-
					新たな海外展 開・輸出につ ながった件数 (累計)	- (-)	8件 (10件)	13件 (15件)	87%	- 20件	- 25件			
27	新	○	滋賀県未来投資支援 事業	人手不足、2024年問題、 DX、CO2ネットゼロ、イン バウンドの取り込みなど、 事業者が行う未来を見据え た意欲的な取組に対し必要 な経費の一部を補助する。	物価高騰等の影響を受ける県内中小企業等に対し て、生産性向上や新事業展開、人材育成など、未 来を見据えた意欲的な取組に対する支援を行った。			県内中小企業において、持続的な賃上げが実現できる よう、賃上げの原資となる付加価値額の増加させる取 組に対して、県として必要な対応を講じていく必要が ある。				(再掲)	商工政策課	17 31 49 70 80
					申請件数 2,500件	- (-)	- (-)	2,705件 (2,500件)	108%	()	()			
28	○		近江の地域産業振興 総合支援事業	地場産業組合等が実施する 海外の販路開拓、持続的発 展に向けた後継者育成や国 内での販路拡大等、ブラン ド力向上を目指した取り組 みを支援する。	○地域産業総合推進事業 施策推進協議会を実施した(開催日：7月29 日)。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を 目的にして行うブランド化推進に係るセミナー開 催や専門家派遣、認知度向上に向けた情報発信等 に対して助成した ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組 合に対して助成した			・円安の影響により海外展開戦略に係る事業者負担は 増しているが、海外展示会で取引まで繋がっている成 果もあり、引き続き地場産業組合等の販路開拓や後継 者育成に関する取り組みに対して支援を行っていく ・令和9年度の近江の地場産業および近江の地場産品 の振興に関する基本的な指針の新たな策定に向けて、 令和7年度は地場産業等の実態調査を行い、得られた 結果をもとに令和8年度に策定作業を行う				(再掲)	イノベーション推進課	5 81 106
					商品開発や販 路開拓に取り 組んだ事業者 の数	13者 (15者)	6者 (10者)	9者 (8者)	113%	()	()			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】			
29		新	○	世界に届け「滋賀の幸」海外PR事業	県産農畜水産物「滋賀の幸」の魅力を、世界農業遺産認定とともに海外に発信することで、輸出拡大を図る。	○アジアや米国等におけるプロモーション等での滋賀県食材のPR活動 ・台湾の高級デパートにおける滋賀県フェアの開催(9/19~9/30) ・渡米生産者の支援(9/18~10/1) ・ベルギー、ルーマニアおよびドバイのインポーターの滋賀県への招聘			新たに輸出に取り組む事業者の掘り起こしが課題である。				13,289	みらいの農業振興課	-
						-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】			
エ 近江の地場産業事業者等に対する技術提供や共同研究、商品開発等の取組支援(14事業)															
30				びわ湖材産地証明事業	びわ湖材産地証明制度の運営および品質認定の取得を支援するとともに、新たな木材利用を普及啓発する。	○県産木材活用推進協会に対し、びわ湖材産地証明制度の運営を支援した。			○びわ湖材産地証明制度の運営および日本農林規格(JAS)認定の取得を支援。				2,966	びわ湖材流通推進課	44
						びわ湖材証明を行った年間木材量	65,700m3 (68,600)	66,800m3 (74,400)	84400m3 (80,200)	105%					
31		新	○	滋賀県未来投資支援事業	人手不足、2024年問題、DX、CO2ネットゼロ、インバウンドの取り込みなど、事業者が行う未来を見据えた意欲的な取組に対し必要な経費の一部を補助する。	物価高騰等の影響を受ける県内中小企業等に対して、生産性向上や新事業展開、人材育成など、未来を見据えた意欲的な取組に対する支援を行った。			県内中小企業において、持続的な賃上げが実現できるよう、賃上げの原資となる付加価値額の増加させる取組に対して、県として必要な対応を講じていく必要がある。				(再掲)	商工政策課	17 27 49 70 80
						申請件数 2,500件	- (-)	- (-)	2,705件 (2,500件)	108%					

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲			
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考		
							達成度%											
32				プロジェクトチャレンジ支援事業	<p>中小企業が新プロジェクトを立案しチャレンジできる環境を整備することで、新製品や新技術開発を活性化し、開発されたものを事業化へつなげることによって、県内経済の向上につなげる。</p>	<p>○プロジェクトチャレンジ支援事業費補助金 ・新商品や新技術開発にかかる必要な調査、研究開発経費の一部を助成 ・CO2削減に資する研究開発およびデジタル産業、医療・健康産業や循環産業において今後成長が見込まれる分野に関する研究開発を支援 ○フォローアップ支援事業 ・チャレンジ計画等の企画、実施、成果の事業化について各段階に応じた支援</p>												
						<p>中小企業の新製品等開発計画の認定等件数</p>	8件 (9件)	8件 (9件)	10件 (9件)	111%	(10件)	(10件)	- 【-】					
33				地場産業「近江のデザイナー」マッチング事業	<p>地場産業事業者と専門家（近江のデザイナー）のマッチング、伴走支援および製品開発等に要する経費の一部を助成することで地場産業等の製品開発・販路開拓を継続的・発展的に支援する。</p>	<p>○「近江のデザイナー」マッチング委託事業 ・地場産業事業者と近江のデザイナーが取り組む商品開発・販路開拓を伴走支援 全体ミーティング3回、個別ミーティング7回実施 ・地場産業事業者と近江のデザイナーの人材育成デザインやブランディング等に関するセミナーを3回実施 ○「近江のデザイナー」地場産業販路開拓支援事業 ・上記委託事業で取り組む商品開発・販路開拓に係る経費について地場産業事業者に助成した。</p>												
						<p>商品開発や販路開拓に取り組んだ件数</p>	- (-)	7件 (6件)	5件 (6件)	83%	- (-)	- (-)	- 【-】					
34		新		地場産業 サステナビリティ対応支援事業費補助金	<p>地場産業事業者等が取り組む環境負荷低減に資する事業に要する経費の一部について助成を行う。</p>	<p>・地場産業組合、事業者および伝統的工芸品の製造事業者が取り組む環境負荷低減に資する事業に要する費用の補助を実施した。 ・従来では廃棄していた端材の活用など環境負荷低減となる取組ができた。</p>												
						<p>サステナビリティに対応した取組件数</p>	- (-)	- (-)	6件 (10件)	60%	- (-)	- (-)	- 【-】					

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	達成度%	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)			
35				窯業技術研究開発事業	県内の陶磁器および窯業関連企業の技術支援および産業振興を目的に、新製品および新素材の研究開発を行う。	○陶磁器デザイン指導事業 試験場のデザイン及び試作技術等を生かした技術指導 ○「新しい生活様式のための陶製品開発」 「未来世代への陶製品開発研究」の実施と成果普及 技術移転（特許出願、実施許諾を含む）、試作品開発、新素材開発件数	27件 (25件)	16件 (15件)	16件 (15件)	107%	引き続き、試験場のデザインおよび試作技術等を生かした技術指導を行い、「未来世代への陶製品開発研究」に取り組む	1,933	工業技術総合センター	61	
36				地域産業育成指導事業	窯業関連事業者への技術情報の提供および窯業関連製品や素材の試験および研究を行う。	○技術情報誌「陶」発行、機器開放、技術指導、製品・素材の研究開発	- (-)	- (-)	- (-)	-	引き続き、技術情報誌「陶」発行、機器開放、技術指導、生産物提供、製品・素材の研究開発を実施。	972	工業技術総合センター	62	
37				先進的技術開発プロジェクト事業 (陶製品製造工程へのデジタル技術導入支援事業)	3Dスキャナ、CNC加工機やセラミックトナー印刷機等のデジタルファブリケーションを活用した陶製品の製造工程を確立し、産地の製造現場に対する技術導入支援を行う。	○企業ニーズに基づき、産地内で求められている製造工程の確立と、企業への技術導入の支援 ○講習会、専門家派遣等による企業人材のレベルアップを図った	- (-)	(9件, 170件) (2件, 30件)	6件, 129件 (3件, 50件)	200%、258%	デジタル技術導入を推進するためのハードウェア面での投資。 比較的廉価な設備やツールも活用していくことで、普及しやすい技術とする。	2,203	工業技術総合センター	63	
38				信楽焼産地へのコトづくり支援事業	信楽焼産地を中心とする事業者に対しインバウンド市場の開拓を目指す製品開発や情報発信等の取り組みを支援する。	○「しがらきコトづくり研究会」の発足 ○目的別分科会の設置 ○3つの場（学ぶ場、実証する場、発信する場）を提供し、ステップアップ、フィードバックを意識した活動支援 ・学ぶ場への参加企業数 ・実証する場での製品開発数 ・発信する場への参加企業数	()	平均15社、17点、17社 (10社, 2点, 10社)	平均15社、9点、15社 (10社, 2点, 10社)	150%, 450%, 150%	引き続き、3つの場（学ぶ、実証、発信）を中心にセミナーの開催、製品開発、展示会の開催に取組み魅力発信に努める。	2,275	工業技術総合センター	-	

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
						指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】				備考
39				ものづくり技術高度化事業	県内製造業で必要となる「ものづくり技術」の高度化を目指した技術開発と高性能・高機能な新規材料を創製し、企業の技術競争力強化、および新分野進出を支援する。	○「県内産出プラスチック材料の利活用と高付加価値化のための機能制御技術開発」 ○「協業ロボットによる製造自動化技術の開発」	達成度%	引き続き、地場・地域産業などのモノづくり技術の高度化に向けた研究に取り組む。	807	東北部工業技術センター	64					
						研究テーマ数	2テーマ (2テーマ)	2テーマ (2テーマ)	1テーマ (1テーマ)	100%	- (2テーマ)	- (2テーマ)	- 【-】			
40				技術移転・共同研究事業	東北部工業技術センターで開発した新技術の研究成果を企業などに移転するとともに、共同研究を実施することで、実用化に必要な種々の条件について検討を加え早期の企業化を目指す。	○「ICTを用いた製造工程の可視化・技術伝承支援技術の開発」 ○「鉛フリー銅合金「ピワライト」の産地普及と性能評価に関する研究」 ○「鋳造プロセス向け連続測温センサーの開発」 ○「琵琶湖流域に存在するプラスチックの種別同定に関する研究」 ○「新規高分子系ブレンド材料、および複合材料等の各種物性改質に関する研究」		企業訪問や外部の支援機関との連携を行い、研究シーズの発掘、企業ニーズへの対応を図り、共同研究を推進する。	682	東北部工業技術センター	65					
						産学官連携共同研究数	21件 (25件)	22件 (25件)	25 (25件)	100%	(25件)	(25件)	【】			
						技術普及件数	22件 (12件)	19件 (12件)	24 (12件)	200%	(12件)	(12件)	【】			
41				地域産業支援事業	コロナ危機により大きな影響を受けた地場・地域産業の回復に向けて、従来技術や地域資源を活用しながら、ポストコロナ時代を見据えた製品開発や技術開発の支援を行う。	○繊維産業開発支援 ○パルプ産業開発支援 ○ブランド構築支援 ○ICT支援		技術人材の育成の観点から講習会やセミナーなどをオンラインを活用しながら計画的に実施する。	475	東北部工業技術センター	66					
						講習会等の開催数	25回 (20回)	24回 (20回)	27 (20回)	135%	(20回)	(20回)	【】			
42				○健康志向に対応したオーガニック茶産地育成事業	健康ニーズの高まりを新たな需要と捉え、「近江の茶」の健康ブランド化を図るため、オーガニック茶に加え、ノンカフェイン、低カフェイン等の健康志向向けの輸出茶の商品を拡充する。	○健康志向に対応したカフェインレス茶製造技術の開発（茶業指導所） ○健康志向に対応したオーガニック茶産地体制の構築（補助金）		茶業指導所において品種や茶期ごとのカフェイン含量の違いを明らかにすることができ、低カフェイン茶の製造技術が確立された。また、今後は、新しく開発した技術で製造した茶の商品化を進めていく。	(再掲)	みらいの農業振興課	23 67					
						健康機能性を持ったオーガニック茶商品の開発	- (-)	- (-)	0 (1商品)	0%	- (-)	- (-)	- 【-】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	達成度%	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考
43				水産物流通促進対策事業	滋賀県水産加工業協同組合が実施する湖魚の普及宣伝活動に対して支援する。					○水産物加工品評会を開催した ○滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信を行った	滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信を行う			(再掲)	水産課	12 47	
						-	- (-)	- (-)	- (-)								
オ 情報発信ツールやインターネット等を活用した産地情報や産品情報のPR(5事業)																	
44				びわ湖材産地証明事業	びわ湖材産地証明制度の運営および品質認定の取得を支援するとともに、新たな木材利用を普及啓発する。				105%	○県産木材活用推進協議会に対し、びわ湖材産地証明制度の運営を支援した。	○びわ湖材産地証明制度の運営および日本農林規格(JAS)認定の取得を支援。			(再掲)	びわ湖材流通推進課	30	
						びわ湖材証明を行った年間木材量	65,700m3 (68,600)	66,800m3 (74,400)	84400m3 (80,200)			115,000m ³ 【令和12年度】					
45				木育推進事業	木製玩具等の木育製品の活用を通じて木の良さや利用の意義を学んでもらい、暮らしの中で木を使い親しむ環境づくりを啓発することを通じて、びわ湖材の利用拡大を進める。					○木に触れ、親しんでもらう場を提供するため、普及啓発イベントを実施した。 ○木育への理解を深めるための講座を行い、木育に必要な知識や体験の習得を行い、木の魅力を伝える人材の育成を行った。 ○日常生活の中で木と触れ合うことを通じて木や森林に愛着を持ってもらうため、保育園をはじめとした県内施設に木育製品の貸出を行った。	○木育施設で活躍する人材を増やすことが課題。 ○人材育成のための講座を多く開催する。			48,117	びわ湖材流通推進課	-	
							- (-)	- (-)	- (-)			- 【-】					
46				伝統的工芸品産業振興事業	伝統的工芸品産業の振興を図るため、指定産地の調査や伝統的工芸品紹介冊子を制作する。					○伝統的工芸品に関するパンフレットの増刷	引き続き伝統工芸品の認知度向上のためにパンフレットの増刷を行う 令和7年度に13次見直しを実施予定			299	イノベーション推進課	-	
							- (-)	- (-)	- (-)			- 【-】					

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	達成度%	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
47				水産物流通促進対策事業	滋賀県水産加工業協同組合が実施する湖魚の普及宣伝活動に対して支援する。	○水産物加工品評会を開催した ○滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信を行った				滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信を行う				(再掲)	水産課	12 43
						-	- (-)	- (-)	- (-)	101%	- (-)	- (-)	- 【-】			
48			○	琵琶湖八珍再発見推進事業	琵琶湖の特産種である湖魚を活用する飲食店等と生産者との連携のもと、消費者が湖魚を堪能できるキャンペーンを展開することで、事業者の活動充実化を図る。	○事業者と生産者とが共に学べるワークショップを開催し、「びわ湖魚グルメ」のメニュー開発を行った。				琵琶湖八珍登録店に対してワークショップへの参加と「びわ湖魚グルメ」のメニュー開発を促進する。				4,500	水産課	77
						びわ湖産魚介類を活用する事業者数	- (-)	282件 (270件)	284件 (280件)	101%	(300件)	(-)	300件 【R07年度】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充 国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
					指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	令和6年度 の実績値 (目標値)	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
(2)近江の地場産業事業者等の経営基盤強化のための、経営改善および合理化、資金の供給の円滑化等(10事業)														
ア 近江の地場産業事業者等の経営改善および合理化推進のための支援(8事業)														
49	新	○	滋賀県未来投資支援事業	人手不足、2024年問題、DX、CO2ネットゼロ、インバウンドの取り込みなど、事業者が行う未来を見据えた意欲的な取組に対し必要な経費の一部を補助する。	物価高騰等の影響を受ける県内中小企業等に対して、生産性向上や新事業展開、人材育成など、未来を見据えた意欲的な取組に対する支援を行った。			県内中小企業において、持続的な賃上げが実現できるよう、賃上げの原資となる付加価値額の増加させる取組に対して、県として必要な対応を講じていく必要がある。				(再掲)	商工政策課	17 27 31 70 80
					申請件数 2,500件	- (-)	- (-)	108% 2,705件 (2,500件)	()	()	【]			
50			中小企業経営革新支援事業	中小企業の新事業を促進するため、「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画の承認および外部専門家による指導・助言を行うとともに、商品化、販路開拓等に要する経費の一部を助成する。	○経営革新計画承認審査会の開催 ○市場化ステージ支援事業補助金による支援 ○経営革新計画フォローアップ調査の実施 ○経営革新計画制度周知パンフレットの作成			○経営革新計画承認審査会の開催 ○中小企業経営革新等応援事業補助金による支援 ○経営革新等アドバイザー派遣事業の実施				9,229	中小企業支援課	-
					「市場化ステージ支援事業補助金企業化状況調査」による企業化率	45% (35%)	17% (35%)	94% 33% (35%)	()	()	【]			
51	新	○	地域社会の課題解決型ちいさな企業応援補助金	県内中小企業のうち9割近くを占める小規模事業者が策定する、SDGs・MLGsの目標達成に資する新たな取組に関する事業のうち、事業化・市場化段階にある事業について経費の一部を助成する。	○小規模事業者の新商品等開発・販路開拓にかかる経費の一部を補助			地域社会の課題解決に向けた対応が求められる中、地域に根差した小規模事業者の強みを活かして、社会的課題の解決を図る新たな取組を促進する事業を引き続き実施する必要がある。				5,279	中小企業支援課	-
					新商品市場化または販路開拓が進んだと感じた事業者の割合	- -	- -	125% 100% (80%)	()	()	【]			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	令和6年度 の実績値 (目標値)	達成	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
52				小規模事業経営支援 事業費補助金	商工会、商工会議所および 商工会連合会が小規模事業 者のために行う経営改善普 及事業等に要する経費に対 して助成する。	○商工会、商工会議所および滋賀県商工会連合会 の経営指導員等の人件費およびその活動費等を補 助				商工会等の支援機関に対する支援ニーズも多様 化・複雑化していることから、支援機関における 人材育成の取組を支援することを通じて、経営支 援体制の強化を図っていく必要がある。				1,407,789	中小企業支援課	-
						経営発達支援 計画に掲げる 売上増加事業 者数目標を達 成した商工 会・商工会議 所の割合	61% (75%)	76% (75%)	96% 72% (75%)				【】			
53				中小企業連携組織対 策事業費補助金	滋賀県中小企業団体中央会 が中小企業の組織化、育成 および指導のために行う事 業に要する経費に対し助成 する。	○中小企業団体中央会の指導員等の人件費および その活動費等を補助				物価高騰等の影響により、県内組合が厳しい経営 状況に置かれていることを踏まえ、中小企業団体 中央会による組合に対する取組を支援し、組合の 活性化を図っていく必要がある。				96,452	中小企業支援課	-
						中央会の指導 対応が、「課 題解決に繋 がった」とす る割合	100% (90%)	100% (90%)	111% 100% (90%)				【】			
54	拡	○		地場産業生産性向上 支援事業費補助金	原油価格・物価の高騰の影響 を受けた県内の地場産業 事業者に対し、生産体制の 強化および新商品創出のた めに必要な経費について助 成を行う。	地場産業組合、事業者および伝統的工芸品の製造 事業者が新商品開発や品質向上のための生産設備 を導入する費用に対する補助を行った。 補助実績15件				新規事業(魅力発信に関する)の創出に関する申請 があったが、補助対象外であったため、同様の事 業を実施する際には対象となるよう検討する。				34,969	イノベーション推進課	-
						-	- (-)	- (-)	- (-)		- (-)	- (-)	- 【-】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	令和6年度 の実績値 (目標値)	達成	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
55		新	○	地場産業 サステナビリティ対応支援事業費補助金	地場産業事業者等が取り組む環境負荷低減に資する事業に要する経費の一部について助成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 地場産業組合、事業者および伝統的工芸品の製造事業者が取り組む環境負荷低減に資する事業に要する費用の補助を実施した。 従来では廃棄していた端材の活用など環境負荷低減となる取組ができた。 				一次応募が少ないなど周知に課題があったため対象事業者への案内や組合の会合等で周知に努める。				(再掲)	イノベーション推進課	34 60
						サステナビリティに対応した取組件数	- (-)	- (-)	6件 (10件)	60%	- (-)	- (-)	- 【-】			
56		新	○	地場産業の新たな流通ルート確立支援事業	既存商品を用い、既存の卸売業への販売ルートに加えて、生産者と消費者の距離が近い製造小売業や小売業との新たな流通ルートの確立を支援し、地場産業事業者の経営基盤の強化を図りつつ、新商品開発や販路開拓の道を拓くことを目的とする。	○マッチング件数：9件(浜縮緬1件、彦根仏壇2件、湖東麻織物1件、高島綿織物1件、信楽陶器3件、伝統工芸品1件) ・バイヤーとのマッチング後にも話が進み、アフリカの現地ホテルのセレクトショップへの提案など、各参画事業者のもつ商品の店舗、ECサイト等への取扱など複数の話が出た。				<ul style="list-style-type: none"> 事業説明会の参加や参画事業者の募集が集まりにくかった。 事業説明会の参加が多くなるよう広報に力を入れ、参画事業者の掘り起こしに努める。 				(再掲)	イノベーション推進課	4
						バイヤーとのマッチング件数：10件	- (-)	- (-)	9件 (10件)	90%	()	()	【-】			
イ 近江の地場産業事業者等に対する、金融機関と協調した長期・低利の融資の活用促進(2事業)																
57				中小企業振興資金貸付金	中小企業者の経営安定等を図るため、制度融資を実施する。	○中小企業者の経営安定等を図るため、制度融資を実施した。 (令和6年度新規貸付：2,125件)				○既往債務の借換需要や物価高騰等の影響に対応するため、引き続きセーフティネット資金等の各資金を活用し、事業者の実態に応じた資金繰りを支援する必要がある。				20,598,900	中小企業支援課	-
						-	- (-)	- (-)	- (-)		- (-)	- (-)	【-】			
58				水産振興資金融資基金預託金	漁業経営の近代化、経営の安定および合理化等に必要資金の融資を行う。	○随時、申請に応じて融資を行った。				○引き続き、随時、申請に応じて融資を行う。				43,430	水産課	-
						-	- (-)	- (-)	- (-)		- (-)	- (-)	【-】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充 国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
					指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	達成 令和6年度 の実績値 (目標値)	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
(3)新商品開発等に係る調査研究、多様な分野における事業展開の促進(16事業)														
ア 公設試験研究機関を中心として、高度化、多様化するニーズに対応した新商品開発のための調査研究の推進(11事業)														
59			プロジェクトチャレンジ支援	中小企業が新プロジェクトを立案しチャレンジできる環境を整備することで、新製品や新技術開発を活発化し、開発されたものを事業化へつなげることにより、県内経済の向上につなげる。	○プロジェクトチャレンジ支援事業費補助金 ・新商品や新技術開発にかかる必要な調査、研究開発経費の一部を助成 ・CO2削減に資する研究開発およびデジタル産業、医療・健康産業や循環産業において今後成長が見込まれる分野に関する研究開発を支援 ○フォローアップ支援事業 ・チャレンジ計画等の企画、実施、成果の事業化について各段階に応じた支援			・CO2ネットゼロに資する研究開発を推進するため、CO2削減に繋がるより効果的な研究開発を支援する。				(再掲)	イノベーション推進課	32
					中小企業の新製品等開発計画の認定等件数	10件 (9件)	8件 (9件)	111% 10件 (9件)	(10件)	(10件)	- 【-】			
60	新	○	地場産業 サステナビリティ対応支援事業費補助金	地場産業事業者等が取り組む環境負荷低減に資する事業に要する経費の一部について助成を行う。	・地場産業組合、事業者および伝統的工芸品の製造事業者が取り組む環境負荷低減に資する事業に要する費用の補助を実施した。 ・従来では廃棄していた端材の活用など環境負荷低減となる取組ができた。			一次応募が少ないなど周知に課題があったため対象事業者への案内や組合の会合等で周知に努める。				(再掲)	イノベーション推進課	34 55
					サステナビリティに対応した取組件数	- (-)	- (-)	60% 6件 (10件)	(-)	(-)	- 【-】			
61			窯業技術研究開発事業	県内の陶磁器および窯業関連企業の技術支援および産業振興を目的に、新製品および新素材の研究開発を行う。	○陶磁器デザイン指導事業 試験場のデザイン及び試作技術等を生かした技術指導 ○「新しい生活様式のための陶製品開発」 「未来世代への陶製品開発研究」の実施と成果普及			引き続き、試験場のデザインおよび試作技術等を生かした技術指導を行い、「未来世代への陶製品開発研究」に取り組む				(再掲)	工業技術総合センター	35
					技術移転(特許出願、実施許諾を含む)、試作品開発、新素材開発件数	27件 (25件)	16件 (15件)	107% 16件 (15件)	()	()	【]			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	令和6年度 の実績値 (目標値)	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
62				地域産業育成指導事業	窯業関連事業者への技術情報の提供および窯業関連製品や素材の試験および研究を行う。	○技術情報誌「陶」発行、機器開放、技術指導、製品・素材の研究開発				引き続き、技術情報誌「陶」発行、機器開放、技術指導、生産物提供、製品・素材の研究開発を実施。				(再掲)	工業技術総合センター	36
						-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
63				先導的技術開発プロジェクト事業 (陶製品製造工程へのデジタル技術導入支援事業)	3Dスキャナ、CNC加工機やセラミックトナー印刷機等のデジタルファブリケーションを活用した陶製品の製造工程を確立し、産地の製造現場に対する技術導入支援を行う。	○企業ニーズに基づき、産地内で求められている製造工程の確立と、企業への技術導入の支援 ○講習会、専門家派遣等による企業人材のレベルアップを図った				デジタル技術導入を推進するためのハードウェア面での投資。比較的廉価な設備やツールも活用していくことで、普及しやすい技術とする。				(再掲)	工業技術総合センター	37
						技術移転件数 技術指導、相談等のべ件数	- (-)	(9件, 170件) (2件, 30件)	200%、258% 6件, 129件 (3件, 50件)	()	()	【]				
64				ものづくり技術高度化事業	県内製造業で必要となる「ものづくり技術」の高度化を目指した技術開発と高性能・高機能な新規材料を創製し、企業の技術競争力強化、および新分野進出を支援する。	○「県内産出プラスチック材料の利活用と高付加価値化のための機能制御技術開発」 ○「協業ロボットによる製造自動化技術の開発」				引き続き、地場・地域産業などのモノづくり技術の高度化に向けた研究に取り組む。				(再掲)	東北部工業技術センター	39
						研究テーマ数	2テーマ (2テーマ)	2テーマ (2テーマ)	100% 1テーマ (1テーマ)	- (2テーマ)	- (2テーマ)	- 【-】				

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
						指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	令和6年度 の実績値 (目標値)	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考
65				技術移転・共同研究事業	<p>東北部工業技術センターで開発した新技術の研究成果を企業などに移転するとともに、共同研究を実施することで、実用化に必要な種々の条件について検討を加え早期の企業化を目指す。</p>			達成					(再掲)	東北部工業技術センター	40	
						産学官連携共同研究数	21件 (25件)	22件 (25件)	25 (25件)	(25件)	(25件)	【】				
						技術普及件数	22件 (12件)	19件 (12件)	24 (12件)	(12件)	(12件)	【】				
66				地域産業支援事業	<p>コロナ危機により大きな影響を受けた地場・地域産業の回復に向けて、従来技術や地域資源を活用しながら、ポストコロナ時代を見据えた製品開発や技術開発の支援を行う。</p>			135%					(再掲)	東北部工業技術センター	41	
						講習会等の開催数	25回 (20回)	24回 (20回)	27 (20回)	(20回)	(20回)	【】				
67		○		健康志向に対応したオーガニック茶産地育成事業	<p>健康ニーズの高まりを新たな需要と捉え、「近江の茶」の健康ブランド化を図るため、オーガニック茶に加え、ノンカフェイン、低カフェイン等の健康志向向けの輸出茶の商品を拡充する。</p>			0%					(再掲)	みらいの農業振興課	23 42	
						健康機能性を持ったオーガニック茶商品の開発	- (-)	- (-)	0 (1商品)	(-)	(-)	- 【-】				

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲		
						指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	令和6年度 の実績値 (目標値)	達成	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考	
68				高品質近江牛づくり 推進事業	畜産技術振興センターで生 産した高品質の雌子牛を農 家へ譲渡するため、育成牧 場での優良繁殖雌牛の整備 と効率的な改良を図る。	○育成牧場での優良繁殖雌牛の整備および効率的 な改良を図るとともに、生産した雌子牛を農家に 譲渡	○優良な和牛子牛の県内生産を図るため、引き続き 農家への高品質繁殖雌牛の譲渡する。	-	-	-	-	-	-	-	34,873	畜産課	-	
69				家畜の改良増殖と優 良種畜の譲渡事業	近江しゃもの種卵を生産者 へ供給する。	○地場産品に位置づけられている「近江しゃも」 の種卵あるいは種ひなを供給	○「近江しゃも」の種卵あるいは種ひなを安定的に 供給する。	-	-	-	-	-	-	3,797	畜産課	-		
イ 新ビジネスの創造に向けた異分野・異業種の連携による商品開発等の促進(4事業)																		
70		新	○	滋賀県未来投資支援 事業	人手不足、2024年問題、 DX、CO2ネットゼロ、インバ ウンドの取り込みなど、事 業者が行う未来を見据えた 意欲的な取組に対し必要な 経費の一部を補助する。	物価高騰等の影響を受ける県内中小企業等に対し て、生産性向上や新事業展開、人材育成など、未 来を見据えた意欲的な取組に対する支援を行った。	県内中小企業において、持続的な賃上げが実現でき るよう、賃上げの原資となる付加価値額の増加させ る取組に対して、県として必要な対応を講じていく 必要がある。	申請件数 2,500件	- (-)	- (-)	2,705件 (2,500件)	108%	()	()	【]	(再掲)	商工政策課	17 27 31 49 80
71			○	オープンイノベー ション推進事業	様々な技術シーズを有する 県内中小企業等や、県外企 業や大手企業を取り込んだ “出会いの場（フォーラ ム）”を形成し、企業間 マッチングを推進する機会 の提供やコーディネーター による伴走支援を通じて、 オープンイノベーションを 加速することで、新事業創 出と県内中小企業の競争力 強化を図る。	○異業種交流会(5月、8月、11月、2月、計4回)や シンポジウム(7月、2月、計2回)、セミナー(6 月、7月2回、12月、1月、2月、3月、計7回)等の 開催 ○フォーラム内の企業マッチングを促進するコー ディネーターの設置 ○技術展示会での開発成果の発信強化等による販 路獲得の支援 (M-Tech 県内企業6社出展 10/2~ 4)	マッチングから研究開発・研究開発から事業化へス ムーズに移行するように、専門家が後押しする。 (研究課題ブラッシュアップ支援、研究成果のフォ ローアップ支援)	過去5年間 に、外部資金 を活用した開 発等を実施し た企業のう ち、事業化し た割合	56.30% (50%)	60.00% (50%)	60.00% (50%)	120%	(-)	(-)	【-]	24,435	イノベーション推進課	-

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	達成 令和6年度 の実績値 (目標値)	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
72				○ 地場産業「近江のデザイナー」マッチング事業	<p>地場産業事業者と専門家（近江のデザイナー）のマッチング、伴走支援および製品開発等に要する経費の一部を助成することで地場産業等の製品開発・販路開拓を継続的・発展的に支援する。</p>	<p>○「近江のデザイナー」マッチング委託事業 ・地場産業事業者と近江のデザイナーが取り組む商品開発・販路開拓を伴走支援 全体ミーティング3回、個別ミーティング7回実施 ・地場産業事業者と近江のデザイナーの人材育成 デザインやブランディング等に関するセミナーを3回実施 ○「近江のデザイナー」地場産業販路開拓支援事業 ・上記委託事業で取り組む商品開発・販路開拓に係る経費について地場産業事業者に助成した。</p>			<p>・各事業者は令和5年度に行ったブランディングや製品企画をもとに、商品開発を行った。令和7年度は販路開拓に向けてブランディングや試販を実施する</p>				(再掲)	イノベーション推進課	33 82
						商品開発や販路開拓に取り組んだ件数	- (-)	7件 (6件)	83% 5件 (6件)	- (-)	- (-)	- 【-】			
73				○ 農山漁村発イノベーション支援事業	<p>農山漁村発イノベーションに取り組む農林漁業者等を対象に人材育成のための研修会の開催や専門家派遣による新商品開発、販路開拓などの取組を支援する。</p>	<p>○農山漁村発イノベーションプランナーの派遣 ○農山漁村発イノベーション研修会の開催 ○経営改善計画、総合事業化計画等策定支援 ○地域資源を活用しつつ、農業者等の所得向上や雇用の拡大を図るために必要な施設等の整備支援。</p>			<p>○経営改善につながる伴走型のプランナー派遣による支援を継続する。 ○取組者の意欲や段階に応じた研修カリキュラムが必要。 ○経営戦略の実践を通じて当該地域における新たな事業創出や雇用拡大、地域活性化が促進されるように支援を行う。</p>				55, 159	みらいの農業振興課	-
						6次産業化を含む経営改善計画等を策定した経営体数	()	9経営体 (5経営体)	160% 8経営体 (5経営体)	- (5経営体)	- (-)	5経営体 【R7年度】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	達成 令和6年度 の実績値 (目標値)	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
ウ 地場産品の地域にある資源を活用した観光関連産業との連携促進(1事業)															
74				○ シガリズムコンテンツ創出事業	県内各地の価値ある資源を体験・体感することができる滋賀ならではのツーリズムを創出するため、観光素材の掘り起こし、魅力分析等を行い、観光誘客につなげる。	○コーディネーターの配置、現地調査・素材発掘、素材の分析・磨き上げ、商品化、県内共通販売システムの運営、データ蓄積等			○これまでに創出してきたシガリズムコンテンツのさらなるPRを行うとともに、大手OTA等と連携するなどしてコンテンツの販売力を強化し、シガリズム体験の認知度拡大、体験者の増加を図っていく。				29,500	観光振興局	-
						シガリズムコンテンツ創出件数	67本 (64本)	64本 (64本)	555% 365本 (64本)	(70本)	(70本)	210本 【令和9年度】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充 国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
					指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
(4)担い手となる人材の確保・育成、資質向上に対する支援、優れた技術等の継承の推進等(17事業)														
ア 担い手となる人材の確保のための情報提供(5事業)														
75			地域連携型モノづくり人材育成事業	本県の窯業業界の振興を図るため、窯業技術者養成のための専門研修を実施する。	○研修生を受け入れ1年間の研修期間に、大物・小物ろくろ成形科、デザイン科、素地釉薬科に別れ、講義および実習の研修による技術者の養成を実施	171%	引き続き、窯業技術者養成のための専門研修と次年度研修生の選考試験(秋試験、冬試験)を実施する。	1,001	工業技術総合センター	83				
					窯業技術者養成研修受講者数	10名 (7名)	9名 (7名)	12名 (7名)	()	()	【】			
76	拡	○	しがの漁業担い手フルサポート事業	今後の高齢化による琵琶湖漁業の構造変化を見据え、担い手の販売スキル向上のための意識醸成、学びあいの場を提供するとともに、就業希望者の受け入れ態勢の充実を図る。	○意欲ある担い手を対象に所得向上に向けた研修会等を実施した。 ○漁業への就業相談、短期の体験研修、半年間程度の漁労技術等の研修を実施した。		引き続き、漁業の担い手の確実な定着を図る必要がある。	16,447	水産課	-				
					新規漁業就業者数(研修制度を活用して就業した者)	0人 (-)	1人 (-)	3人 (-)	()	()	10人 【R03~ R07年の累計】			
77		○	琵琶湖八珍再発見推進事業	琵琶湖の特産種である湖魚を活用する飲食店等と生産者との連携のもと、消費者が湖魚を堪能できるキャンペーンを展開することで、事業者の活動充実化を図る。	○事業者と生産者とが共に学べるワークショップを開催し、「びわ湖魚グルメ」のメニュー開発を行った。	101%	琵琶湖八珍登録店に対してワークショップへの参加と「びわ湖魚グルメ」のメニュー開発を働きかける。	(再掲)	水産課	48				
					びわ湖産魚介類を活用する事業者数	- (-)	282件 (270件)	284件 (280件)	(300件)	(-)	300件 【R07年度】			
78			製薬技術の向上支援事業	製薬等技術者の資質向上を図るための研修等を行う。	○製薬等技術者の資質向上を図るため、製薬セミナーセミナー、製薬eセミナーおよび製薬スキルアップセミナーを開催。		実習も含めた種々のセミナーを開催し、製薬技術者等のスキルアップが図られたことから、引き続き事業を継続する。	1,753	薬務課	-				
					-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】			
79				企業人材のDXスキル強化支援事業	自ら解決すべき課題を設定する課題設定力や主体性を有し、DXを継続して推進できる人材の育成を行う。	○相談・マッチング会(12/5)の開催 ○DX研究会の開催(9/4、10/30、計2回) ○育成環境構築補助(採択 6社)			DXを積極的に進めるDX先進企業と、DX未着手企業の二極化が進んでいる。そのため、中小企業のDX人材の確保が急務であり、本事業を通じてさらなる啓発、取組支援を進める必要がある。				11,275	イノベーション推進課	-
						社内SIとなるDX人材の育成に取り組んだ、もしくは、取り組むことを決定した事業者数	- (-)	24件 (20件)	120% 20件 (20件)	- (20件)	- (-)	- 【-】			
イ 後継者育成や技術継承のための取組の実施および支援(9事業)															
80	新	○		滋賀県未来投資支援事業	人手不足、2024年問題、DX、CO2ネットゼロ、インバウンドの取り込みなど、事業者が行う未来を見据えた意欲的な取組に対し必要な経費の一部を補助する。	物価高騰等の影響を受ける県内中小企業等に対して、生産性向上や新事業展開、人材育成など、未来を見据えた意欲的な取組に対する支援を行った。			県内中小企業において、持続的な賃上げが実現できるよう、賃上げの原資となる付加価値額の増加させる取組に対して、県として必要な対応を講じていく必要がある。				(再掲)	商工政策課	17 27 31 49 70
						申請件数 2,500件	- (-)	- (-)	108% 2,705件 (2,500件)	()	()	【】			
81	○			近江の地域産業振興総合支援事業	地場産業組合等が実施する海外の販路開拓、持続的発展に向けた後継者育成や国内での販路拡大等、ブランド力向上を目指した取り組みを支援する。	○地域産業総合推進事業 施策推進協議会を実施した(開催日:7月29日)。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を目的に行うブランド化推進に係るセミナー開催や専門家派遣、認知度向上に向けた情報発信等に対して助成した ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組合に対して助成した			・円安の影響により海外展開戦略に係る事業者負担は増しているが、海外展示会で取引まで繋がっている成果もあり、引き続き地場産業組合等の販路開拓や後継者育成に関する取り組みに対して支援を行っていく ・令和9年度の近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する基本的な指針の新たな策定に向けて、令和7年度は地場産業等の実態調査を行い、得られた結果をもとに令和8年度に策定作業を行う				(再掲)	イノベーション推進課	5 28 106
						商品開発や販路開拓に取り組んだ事業者の数	13者 (15者)	6者 (10者)	113% 9者 (8者)	()	()	【-】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充 国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
					指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	達成	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考
								令和6年度の 実績値 (目標値)							
82		○	地場産業「近江のデザイナー」マッチング事業	地場産業事業者と専門家（近江のデザイナー）のマッチング、伴走支援および製品開発等に要する経費の一部を助成することで地場産業等の製品開発・販路開拓を継続的・発展的に支援する。	<p>○「近江のデザイナー」マッチング委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産業事業者と近江のデザイナーが取り組む商品開発・販路開拓を伴走支援 全体ミーティング3回、個別ミーティング7回実施 <p>・地場産業事業者と近江のデザイナーの人材育成</p> <p>○「近江のデザイナー」地場産業販路開拓支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記委託事業で取り組む商品開発・販路開拓に係る経費について地場産業事業者に助成した。 			83%	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業者は令和5年度に行ったブランディングや製品企画をもとに、商品開発を行った。令和7年度は販路開拓に向けてブランディングや試販を実施する 				(再掲)	イノベーション推進課	33 72
					商品開発や販路開拓に取り組んだ件数	- (-)	7件 (6件)	5件 (6件)	- (-)	- (-)	- 【-】				
83			地域連携型モノづくり人材育成事業	本県の窯業業界の振興を図るため、窯業技術者養成のための専門研修を実施する。	<p>○研修生を受け入れ1年間の研修期間に、大物・小物ろくろ成形科、デザイン科、素地釉薬科に別れ、講義および実習の研修による技術者の養成を実施。</p>			171%	引き続き、窯業技術者養成のための専門研修と次年度研修生の選考試験（秋試験、冬試験）を実施する。				(再掲)	工業技術総合センター	75
					窯業技術者養成研修受講者数	10名 (7名)	9名 (7名)	12名 (7名)			【】				
84			新規就農促進・定着支援事業	就農に向けて、相談から定着にいたるまでの一貫した支援体制を整え、次代の優れた本県産産の担い手の育成確保を図る。	<p>○職業としての農業への関心を高めるため大学生へ出前講座等を開催した。</p> <p>○就農相談活動や就農準備講座の開催、青年農業者の交流等を支援した。</p>				<p>○コロナ禍以降の他産業分野での就職状況の改善等の理由により、就職就農者の減少がみられた。</p> <p>○就職活動の早期化の現状を踏まえ、大学生への出前講座の対象学年や開催時期の見直し等に取り組む予定である。</p>				9,276	みらいの農業振興課	-
					-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	【-】				
85			養蚕生産安定技術支援事業	県内では、国産繭を使った伝統的な地域の産業があるが、他府県産の原料繭生産の減少により、繭の確保が不安視される状況にあり、県内で繭生産に必要な技術習得を支援する。	<p>○養蚕技術習得の支援（補助金）</p>				<p>○2つの生産者組織に対し、安定生産技術の支援を行なった。次年度も支援を継続し、生産工程管理の見直しを進める。</p>				463	みらいの農業振興課	-
					-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	【-】				

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	達成	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考
86				大家畜技術指導事業	近江牛生産農家に対して技術指導を行う。	○定期的な巡回により、繁殖や栄養などの飼養管理の指導を実施	-	-	-	達成	○近江牛の安定生産を図るため、引き続き、飼養管理に係る技術指導を実施する。	-	-	-	879	畜産課	-
						-	(-)	(-)	(-)		-	(-)	(-)	【-】			
87				選ばれる「近江牛」づくりチャレンジ支援事業	多様な消費者ニーズを意識した「滋賀県生まれ・滋賀県育ち」の近江牛作りへの支援に加え、アニマルウェルフェア（AW）を意識した生産体系に向けた取組や滋賀らしい生産PRなど、ブランド力の向上を図る取組を推進する。	○ゲノミック評価を活用した繁殖雌牛改良の取組を支援 ○新たに繁殖肥育一貫経営に取り組む農家を支援 ○AW、環境、安全・安心に配慮した“三方よし”の「近江牛生産」を推進・PRすることで、ブランド力の向上を図った	-	-	-	-	○消費者ニーズに対応した次世代高能力繁殖雌牛群整備を図るため、最先端技術であるゲノミック検査を活用し、繁殖雌牛の改良を推進する。 ○ブランド力向上を図るため、家畜の快適性や環境、安全・安心に配慮した三方よしの「近江牛生産」の取組を引き続き推進する。	-	-	-	5,576	畜産課	-
						-	(-)	(-)	(-)		-	(-)	(-)	【-】			
88				滋賀のくすり振興対策事業	経営者等を対象に市場展望と薬業界の今後の進むべき方向についてのセミナー事業に対して支援する。また、若い人材の育成・確保のための講習会等を開催する。	○（一社）滋賀県薬業協会が行うセミナー事業の支援（補助金） ○化学薬学系の大学生等に対して、県内製薬企業の工場見学会および講習会を開催する。	-	-	-	-	○セミナーの開催は、各企業の経営者等にとって今後の経営方針、経営戦略を立てる上で有用であるため、引き続き事業に対する支援が必要である。 ○県内薬・化学系の大学・高校の学生への滋賀の製薬企業の紹介事業に引き続き取り組んでいく。	-	-	-	89	薬務課	-
						-	(-)	(-)	(-)		-	(-)	(-)	【-】			
ウ 未来の後継者確保に向けた小中学生や高校生等の地場産業等における機会の提供(3事業)																	
89	拡	○		地場産業・伝統的工芸品次世代魅力体験事業	地場産業、伝統的工芸品に対する興味・関心・共感の醸成を図り、将来の担い手（作り手、支え手、買い手）となる人材の育成・確保につなげることを目的に、県内小学校が地場産業や伝統的工芸品製造者を行う体験学習等に要する経費の一部を支援する。	○地場産業や伝統的工芸品製造事業者と連携して、製造工程等の体験学習等を行う際に要する経費に対して補助	-	-	190%	達成	実情に合わせて、補助上限額の引き上げや補助金額の端数処理の変更等を行い、引き続き実施する。	-	-	-	1,058	イノベーション推進課	98
						学校と事業者が連携して体験学習等を行った件数	-	15件	19件		-	(-)	(-)	【-】			
							(-)	(10件)	(10件)		-	(-)	(-)	【-】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】			
90			○	世界にひとつの宝物づくり事業	陶芸作家やボランティア等との協働により、子どもや障がい者が「土」とふれあい、モノづくりの喜び・感動や本物の芸術を体感できるプログラムを提供することにより、陶芸に理解のある次世代の心豊かな人材育成を図る。	○子どもや障がい者等を対象にした制作体験や展示鑑賞などによる教育プログラム（つちっこプログラム）の提供。 ○各種講座の充実やつちっこ活動の理解向上を目的として、子供向けの信楽焼紹介映像制作を行った。	達成	109%	子どもや障害のある方が本物の芸術に触れ、ものをつくる喜びや感動を体験できる教育プログラムはほかにはない貴重なものであり、引き続き陶芸家をはじめとする多様な主体との協働が必要である。また、県負担金以外の財源確保に努め、プログラムを安定的に運営できるようにする必要がある。	6,000	イノベーション推進課	99			
						「つちっこプログラム」の参加者数 (R5からは年間実施件数)	11,686人 (11,000人)	232件 (230件)	251件 (230件)	(230件)	(230件)	230件 【R8年度】	基本構想実施計画		
91			新	地場産業・伝統的工芸品魅力発信ベース検討事業	地場産業・伝統的工芸品の担い手（作り手・支え手・買い手などの関係人口）の育成・確保につなげるため、展示・販売・実演・体験を含む地場産業・伝統的工芸品の魅力発信拠点の設置、次年度以降の事業展開検討のための効果検証を行う。	○県および国指定の伝統的工芸品の展示・販売・実演を含む体験会を開催。 開催期間：①10月 1日～10月14日 ②10月17日～10月30日 ③11月 2日～11月15日 開催場所：①BIWAKO PICNIC BASE（長浜市） ②伊吹薬草の里文化センター（米原市） ③新旭駅西ショッピングセンターエスバ（高島市） 事業者：長浜縮緬、近江上布、信楽焼、高島扇骨、彦根仏壇、網織紬、草木染手組組紐、鼻緒、輪奈ピロード、（再興）湖東焼、上丹生木彫、木珠（高級木製数珠玉）、愛知川びん細工手まり、江州よしすだれ（12者）		115%	開催期間や拠点の設置場所、販売方法などあらゆる方法で拠点設置の実現に向けて検討する必要がある。	(再掲)	イノベーション推進課	3 94 100			
						「周知を図ることができた」と感じた出展事業者の割合	- (-)	- (-)	91.7% (80%)	()	()	【-】			

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充 国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
					指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】				備考
エ 事業承継に向けた取組の支援(2事業)															
92			事業承継促進事業	新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、自主廃業が増加することが懸念される中、事業者の事業承継ニーズ掘り起こしを強化するとともに、幅広く活用できる補助金により、事業承継を促進する。	○事業承継引継ぎ・支援センターへ紹介された、有効な案件に対する報酬付与の取組等を通じて、同センターと事業承継ネットワーク構成機関との連携強化を図った。 ○円滑な事業承継に向けた体制整備に向けて行う事業の支援（事業承継円滑化補助金）。	現経営者が事業承継に向けて事業のブラッシュアップ等を行う際には、資金面が課題となっており、引き続きの支援が必要。				5,820	中小企業支援課	-			
					①事業承継・引継ぎ支援センターへ引き継いだ有効な案件数 ②事業承継の課題解決に繋がった事業者	32件 (20件)	50件 (20件)	210% 42者 (20件)							
					8者 (10者)	10者 (10者)	110% 11者 (10者)	()	()	【】					
93	新		北部地域事業承継促進事業	中小企業の経営者の高齢化や後継者不足を理由に自主廃業を検討する事業者の増加がとりわけ北部地域において懸念される中、特任相談員による事業承継ニーズの掘り起こし等を通じて、北部地域における事業承継を促進する。	特任相談員を北部の商工会に配置し、承継ニーズの掘り起こし、後継者等を対象としたセミナーの開催、関係機関との情報共有を行うことで、北部地域の事業承継の促進に繋げる。	事業承継ニーズの掘り起こしを継続するとともに、円滑な事業承継を促進するために事業承継計画の策定等、個別支援についても進めていく。				13,380	中小企業支援課	-			
					①支援事業者 ②滋賀県事業承継・引継ぎ支援センターへの売り案件登録数	(-)	(-)	216% 1,951者 (900者)	()				()	【】	
						(-)	(-)	200% 18件 (9件)	()				()	【】	

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充 国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
					指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
(5) 近江の地場産業および近江の地場産品に対する関心および理解を深めるための、普及啓発、多様な学習機会の提供等(12事業)														
ア 地場産業等への関心を高め、理解を促進するPRイベント等の実施(4事業)														
94	新	○	地場産業・伝統的工芸品魅力発信ベース検討事業	地場産業・伝統的工芸品の担い手(作り手・支え手・買い手などの関係人口)の育成・確保につなげるため、展示・販売・実演・体験を含む地場産業・伝統的工芸品の魅力発信拠点の設置、次年度以降の事業展開検討のための効果検証を行う。	○県および国指定の伝統的工芸品の展示・販売・実演を含む体験会を開催。 開催期間：①10月 1日～10月14日 ②10月17日～10月30日 ③11月 2日～11月15日 開催場所：①BIWAKO PICNIC BASE(長浜市) ②伊吹薬草の里文化センター(米原市) ③新旭駅西ショッピングセンターエスパ(高島市) 事業者：長浜縮緬、近江上布、信楽焼、高島扇骨、彦根仏壇、網織紬、草木染手組組紐、鼻緒、輪奈ピロード、(再興)湖東焼、上丹生木彫、木珠(高級木製数珠玉)、愛知川びん細工手まり、江州よしすだれ(12者)	達成	開催期間や拠点の設置場所、販売方法などあらゆる方法で拠点設置の実現に向けて検討する必要がある。				(再掲)	イノベーション推進課	3 91 100	
					「周知を図ることができた」と感じた出展事業者の割合	- (-)	- (-)	115% 91.70% (80%)						
95	○	近江の地酒文化普及事業	近江の地酒に関する魅力を発信し、県民等の近江の地酒に対する愛着を高め、地酒でもてなす機運を醸成することで新たなファン獲得や需要の掘り起こしを行い、滋賀への誘客促進や関係人口の創出を図る。	○「近江の地酒」に関する魅力の発信 ・近江の地酒もてなし普及協議会開催 ・地酒イベントキャンペーンの開催 ・ホームページ等WEBを活用した情報発信 ○「近江の地酒」認知度向上・ファン獲得 ・近江の地酒ファン獲得に繋がる資材の作成 ・滋賀県酒造組合が開催する地酒の魅力発信イベントや海外への輸出促進の取組を支援	達成	○「近江の地酒」に関する魅力の発信 ・近江の地酒もてなし普及協議会開催 ・SNS、ホームページを活用した情報発信 ○「近江の地酒」認知度向上・ファン獲得 ・「近江の地酒おもてなし推進店」制度の活性化 ・滋賀県酒造組合が開催する地酒の魅力発信イベントや海外への輸出促進の取組を支援				(再掲)	観光振興局	6		
				・商談件数	99件 (50件)	676件 (100件)	244% 244者 (100者)							接触者数 200者 【令和6年度】

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲		
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考					
96				しがの地産地消・食育推進事業	<p>県域および各地域の地産地消推進会議の開催や農業体験等による食育活動により、地場農産物の生産拡大と地域内流通および農からの食育を促進する。</p>	<p>○各地域での地産地消等を推進する会議の開催 延べ回数22回 ○食育体験等の促進支援</p>	-	- (-)	- (-)	- (-)	<p>○今後とも、県域および各地域の地産地消推進会議の開催や農業体験等へ支援し、地場農産物の生産拡大および農からの食育を推進する。</p>	-	- (-)	- (-)	【-】	633	みらいの農業振興課	-
97				文化施設管理運営費	<p>県民が文化芸術活動を行う拠点となる県立文化施設（文化産業交流会館）について、事業の実施および施設の管理運営等の業務を指定管理者が行うための管理料等を支出する。</p>	<p>○邦楽・邦舞の公演やその次世代育成事業等を通じて、和楽器をはじめとする伝統芸能の普及に取り組むとともに、関連企画として伝統産業に触れる機会を提供した。 ・邦楽・邦舞公演「長栄座」および伝統産業展 ・和楽器の若手演奏家の養成事業「邦楽専門実演家養成事業」 ・邦楽演奏家の学校派遣事業「和のじかん」 ・子供向け伝統芸能普及事業「古典芸能キッズワークショップ」「箏曲ジュニアアンサンブル」 ・ユースシアター事業 邦楽ミュージカル「近江むかしがたり」</p>	-	- (-)	- (-)	- (-)	<p>○令和7年度は「芝居小屋『長栄座』夏のフェスティバル」として、余呉湖や羽衣伝説をテーマに、親しみやすい作品の制作・公演等を行うとともに、和楽器弦をはじめとする滋賀の伝統的工芸品への理解を深めていただく「近江のあたらしい伝統産業展」を実施し、その魅力を次世代に伝えていく。</p>	-	- (-)	- (-)	【-】	328,854	文化芸術振興課	105
イ 小中学生等が地場産業等にふれ、理解を深める機会の提供(8事業)																		
98		新		地場産業・伝統的工芸品次世代魅力体験事業	<p>地場産業、伝統的工芸品に対する興味・関心・共感の醸成を図り、将来の担い手（作り手、支え手、買い手）となる人材の育成・確保につなげることを目的に、県内小学校が地場産業や伝統的工芸品製造者等を行う体験学習等に要する経費の一部を支援する。</p>	<p>○地場産業や伝統的工芸品製造事業者と連携して、製造工程等の体験学習等を行う際に要する経費に対して補助</p>	190%	- (-)	15件 (10件)	19件 (10件)	<p>実情に合わせて、補助上限額の引き上げや補助金額の端数処理の変更等を行い、引き続き実施する。</p>	- (-)	- (-)	- (-)	【-】	(再掲)	イノベーション推進課	89
99				世界にひとつの宝物づくり事業	<p>陶芸作家やボランティア等との協働により、子どもや障がい者が「土」とふれあい、モノづくりの喜び・感動や本物の芸術を体感できるプログラムを提供することにより、陶芸に理解のある次世代の心豊かな人材育成を図る。</p>	<p>○子どもや障がい者等を対象にした制作体験や展示会鑑賞などによる教育プログラム（つちっこプログラム）の提供。 ○各種講座の充実やつちっこ活動の理解向上を目的として、子供向けの信楽焼紹介映像制作を行った。</p>	109.1%	11,686人 (11,000人)	232件 (230件)	251件 (230件)	<p>子どもや障がい者が本物の芸術に触れ、ものをつくる喜びや感動を体験できる教育プログラムはほかにない貴重なものであり、引き続き陶芸家をはじめとする多様な主体との協働が必要である。 また、県負担金以外の財源確保に努め、プログラムを安定的に運営できるようにする必要がある。</p>	-	-	-	230件 【R8年度】	(再掲)	イノベーション推進課	90

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
100		新	○	地場産業・伝統的工芸品魅力発信ベース検討事業	地場産業・伝統的工芸品の担い手（作り手・支え手・買い手などの関係人口）の育成・確保につなげるため、展示・販売・実演・体験を含む地場産業・伝統的工芸品の魅力発信拠点の設置、次年度以降の事業展開検討のための効果検証を行う。	○県および国指定の伝統的工芸品の展示・販売・実演を含む体験会を開催。 開催期間：①10月 1日～10月14日 ②10月17日～10月30日 ③11月 2日～11月15日 開催場所：①BIWAKO PICNIC BASE（長浜市） ②伊吹葉草の里文化センター（米原市） ③新旭駅西ショッピングセンターエスパ（高島市） 事業者：長浜縮緬、近江上布、信楽焼、高島扇骨、彦根仏壇、網織紬、草木染手組組紐、鼻緒、輪奈ピロード、（再興）湖東焼、上丹生木彫、木珠（高級木製数珠玉）、愛知川びん細工手まり、江州よしすだれ（12者）				開催期間や拠点の設置場所、販売方法などあらゆる方法で拠点設置の実現に向けて検討する必要がある。				(再掲)	イノベーション推進課	3 91 94
						「周知を図ることができた」と感じた出展事業者の割合	- (-)	- (-)	91.7% 91.70% (80%)							
101		○		たんぼのこ体験事業	小学生自らが農産物を「育て」、「収穫し」、そして調理して「食べる」という一貫した体験学習を通して、農業への関心を高めるとともに、生命や食べ物大切さを学ぶ「農からの食育」を推進する。	○小学校が行う農業体験学習への支援 ・201小学校で実施（未確定）（県内小学校221校）				○県内すべての小学校で農作業体験ができるよう引き続き「たんぼのこ体験事業」の活用を働きかける。				自治振興交付金のうち数	みらいの農業振興課	-
						-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
102				新時代の近江牛応援団づくり事業	県内の児童等が近江牛の魅力、地元の食・食文化、地産地消や食の安全に対する理解を深めることによって、将来の近江牛ファンを育てるとともに、職業としての農業、食肉の卸売・小売業、飲食店営業等の魅力を伝えることによる将来の担い手や人材確保のきっかけ作りに資する。	○関係団体が、県内の学校等に対して出前講座と食育を行う取組を支援				学生生徒が自発的に近江牛について学習する活動を支援するとともに、子どもや若者が学び・体験する場の充実化を図り、近江牛や滋賀への愛着心を育てる機会が必要である。				(再掲)	畜産課	10
						近江牛の出前講座の開催	- (-)	53 (20回)	247% 74回 (30回)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充	国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
						指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】				備考
103				○ びわ湖のめぐみ食文化継承促進事業	学校給食に湖魚が提供されることで、湖魚を食べる機会の増加、認知度向上や消費拡大を図る。			達成 令和6年度の 実績値 (目標値)	学校給食関係者を対象に湖魚食材について学ぶ機会を創出することで湖魚を積極的に活用してもらい、学校給食を通して児童に湖魚の知識・関心を深める必要がある。			10回 【R07年度】	3,148	水産課	-	
						学校給食での湖魚の年間平均使用回数	8.3回 (8.2回)	7.5回 (8.7回)	62% 5.8回 (9.3回)							
104				○ 中学校チャレンジウィーク	中学校において5日間程度の職場体験を実施し、働く大人の姿にふれたり、自分の生き方を考えたりする機会とし、自分の進路を選択できる力や将来社会人として自立できる力を育てる。			100% 100%	・職場体験学習だけでなく事前事後の学習を充実させるとともに、発達段階を踏まえた系統的な取組を一層進める必要がある。 ・学校は5日間開催の教育的効果を理解しているものの、事業所探しに苦慮している現状があるため、市町教育委員会と連携しながら事業所の確保に努める必要がある。			100% 100%	277	幼小中教育課	-	
						全公立中学校における地元の事業所を中心とした職場体験を5日間程度実施した学校の割合	53% (100%)	98% (100%)	100% 100%	- 100%	- 100%	100% 【-】				
105				文化施設管理運営費	県民が文化芸術活動を行う拠点となる県立文化施設（文化産業交流会館）について、事業の実施および施設の管理運営等の業務を指定管理者が行うための管理料等を支出する。				○邦楽・邦舞の公演やその次世代育成事業等を通じて、和楽器をはじめとする伝統芸能の普及に取り組むとともに、関連企画として伝統産業に触れる機会を提供した。 ・邦楽・邦舞公演「長栄座」および伝統産業展 ・和楽器の若手演奏家の養成事業「邦楽専門実演家養成事業」 ・邦楽演奏家の学校派遣事業「和のじかん」 ・子供向け伝統芸能普及事業「古典芸能キッズワークショップ」「箏曲ジュニアアンサンブル」 ・ユースシアター事業 邦楽ミュージカル「近江むかしがたり」	○令和7年度は「芝居小屋『長栄座』夏のフェスティバル」として、余呉湖や羽衣伝説をテーマに、親しみやすい作品の制作・公演等を行うとともに、和楽器をはじめとする滋賀の伝統的工芸品への理解を深めていただく「近江のあたらしい伝統産業展」を実施し、その魅力を次世代に伝えていく。			- 【-】	(再掲)	文化芸術振興課	97
							- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和6年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	新規・拡充 国庫	事業名	事業概要	事業の実施状況(R07.3月末)			課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
					指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	令和6年度 の実績値 (目標値)	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】			
(6) 近江の地場産業および近江の地場産品に関する実態についての定期的な調査および分析(1事業)														
ア 近江の地場産業および近江の地場産品の実態について概ね5年を目安として調査を実施(1事業)														
106		○	近江の地域産業振興 総合支援事業	地場産業組合等が実施する 海外の販路開拓、持続的発展 に向けた後継者育成や国内 での販路拡大等、ブランド 力向上を目指した取り組 みを支援する。	○地域産業総合推進事業 施策推進協議会を実施した(開催日：7月29日)。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を 目的にして行うブランド化推進に係るセミナー開 催や専門家派遣、認知度向上に向けた情報発信等 に対して助成した ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組 合に対して助成した			・円安の影響により海外展開戦略に係る事業者負 担は増しているが、海外展示会で取引まで繋がっ ている成果もあり、引き続き地場産業組合等の販 路開拓や後継者育成に関する取り組みに対して支 援を行っていく ・令和9年度の近江の地場産業および近江の地場産 品の振興に関する基本的な指針の新たな策定に向 けて、令和7年度は地場産業等の実態調査を行い、 得られた結果をもとに令和8年度に策定作業を行う				(再掲)	イノベーション推進課	5 28 81
					商品開発や販 路開拓に取り 組んだ事業者 の数	13者 (15者)	6者 (10者)	113% 9者 (8者)	()	()	【-】			